

2022年度 事業実績について

概要

J1復帰を目指した2022シーズンの大分トリニータは、Jリーグ YBC ルヴァンカップの参戦と11月に開催された FIFA ワールドカップの関係による厳しい日程のなか、明治安田生命 J2リーグ開幕戦が新型コロナウイルスの影響で延期となり、さらに過密日程でのシーズンとなりました。

また、その影響によるコンディション不良の選手やケガ人が続出し、前半戦はベストメンバーを組めない苦しい戦いが続きましたが、後半戦はベテラン選手の奮闘と若手選手の成長により勝点を積み上げ、17勝15分10敗(5位/22チーム)の成績で J1参入プレーオフに進出することができました。

プレーオフはロアッソ熊本(4位)との激闘の末、引き分けとなり年間順位の優位性による1回戦敗退でシーズンを終了しました。

大分トリニータ後援会では、2022年度の入会実績が入会数4,989人(前年比:772人減)、入会費22,218,000円(前年比:514,000円減)となり、株式会社大分フットボールクラブに対し15,555,000円(前年比:445,000円減)の金額を財政支援しました。

1. 理事会・定期総会等の開催状況

大分トリニータ後援会の2021年度事業実績と収支決算報告および2022年度事業計画案と収支予算案報告のため、第1回理事会および総会については新型コロナウイルス感染防止対策のため書面表決での開催となりました。

- ・2022年度 第1回理事会:定期総会議案の決定
- ・2022年度 総会:2021年度事業実績報告

2. 支部活動状況

佐伯支部では1月23日(日)にトキハインダストリー佐伯店にて、後援会入会およびシーズンパスの受付を実施するとともに、ホームゲーム10試合のバスツアーを実施しました。

また、明治安田生命支部も7月に開催された後援会 DAY にてバスツアーを実施し、大分銀行支部は熊本県で開催された J1参入プレーオフ1回戦にバスツアーを実施しました。

3. 選手会等とタイアップしたイベント活動

佐伯支部の入会促進に繋がるよう佐伯ケーブルテレビにて以下活動をしました。

- ・2022シーズン始動解説(高松大樹 氏)※1月17日収録
- ・佐伯支部イベント告知(松本怜 選手) ※1月20日収録

4. 大分トリニータ後援会 DAY 開催

2022年度は株式会社大分フットボールクラブのオフィシャルパートナーであり、後援会支部でもあるジェイリース株式会社と以下日程にて共同開催しました。

開催日:2022年7月30日(土) 明治安田生命 J2リーグ第29節

※19:00試合開始(対 東京ヴェルディ)

名 称:ジェイリースサンクスデー&大分トリニータ後援会 DAY

場 所:昭和電工ドーム大分

内 容:① 大分合同新聞イベント掲載

② マッチデイプログラム広告掲載

③ 後援会ブースにジェイリース FC 選手のスタッフ派遣

④ ハーフタイム大抽選会

※通常より3倍の賞品数(宇佐市役所支部・ジェイリース支部等提供)

⑤ 卓上カレンダー&チームポスター(後援会オリジナル)プレゼント

⑥ ジュニア会員マルチシール(後援会オリジナル)プレゼント

⑦ 追加支援者にハーフタイム抽選応募券プレゼント

⑧ 後援会支部 招待券配布

※申請支部:佐伯支部・津久見支部・NTT 西日本大分グループ支部
豊和銀行支部・明治安田生命支部・オーシーグループ支部

⑨ バスツアー実施

※実施支部:佐伯支部・明治安田生命支部・大分銀行支部

5. 入会促進活動

2021年度同様(郵便振込・WEB 申込・クラブトリニータ・試合会場)の入会方法に加え、新たにふるさと納税の返礼品にて新規入会申込を受付しました。

総 括

2022年度の大分トリニータ後援会は、株式会社大分フットボールクラブとのシーズンパス同時入会やオフィシャルグッズショップ「クラブトリニータ」での受付、新たにふるさと納税での入会を始め、様々な入会促進活動を行いました。

また、ホームゲーム開催時には後援会ブースを設置し新規継続入会および追加支援の受付をすることで多くの会員獲得に努めましたが、目標(会費収入23,500,000円・会員数6,300人)未達成となり、次年度以降の募集に向けて更なる入会活動や入会特典の見直しが必要と考えています。

今後とも各支部をはじめ会員の皆さまには、大分トリニータの活動を支援するため多くの会員獲得へご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。